

令和2年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



四季の森

10月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

心の距離を近づけよう

校長 笹原 洋子

『暑さ寒さも彼岸まで』とはよく言ったもので、9月の4連休のあと、急に秋めいてきました。気候が安定しない時期にもかかわらず、マスクの効果なのでしょうが、今年度は風邪で欠席する児童は少ないようです。



<学校で採れた栗>

10月10日(土)の運動会に向けて練習が始まりました。今年度は様々な制約があり、学年を超えての交流をほとんど行えずに過ごしてきましたが、いよいよ、他の学年と一緒に活動することにしました。運動会は、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生が合同で競技などを行うので、一緒に練習に取り組みます。上級生は下級生の見本になるよう努力することが、自信につながるでしょう。下級生は上級生がお手本を示してくれるので、安心して取り組むことができると思います。また、人間関係を広げることにもつながると思います。一緒に活動することを通して、「名前を知っている人」「話したことがある人」「仲の良い人」を増やして欲しいと考えています。

今年度の運動会は、コロナ対策としてご家族の参観は原則、保護者に限定させていただきます。制約がある中ではありますが、『子どもたちの輝く姿』を見ていただけますようお願いいたします。ご自身のお子さんだけでなく、友だちのことも見てください。また、上級生の様子を見ていただくことで、今後、お子さんが成長していく姿をイメージすることができるようになると思います。運動会が『四季の森小にかかわる保護者と子どもたちがつながる場』になればと考えています。



例年は運動会のポスターを地域に掲示し、地域の皆様にも参観していただいていたのですが、今年度は、残念ながら多くの方に見ていただくことはできません。子どもたちの頑張りを、心の中で応援していただければ幸いです。

先日、「上白根地区支えあい連絡会」という会に参加しました。上白根地区では『防災』『見守り』『あいさつ』をキーワードに『地域の誰もがつながり支えあう』地域を目指しています。この地域の小学校としてできることは何だろうと考えてみました。まずは、『あいさつ』だと思います。最近、自分から進んであいさつをする児童が増えていきます。地域に住む方々へもあいさつできるように声をかけていこうと思います。保護者の皆様や、地域の方々も、みんなで気持ちの良いあいさつを交わせるまちにしていきたいと思います。コロナ禍で、ソーシャルディスタンスは取っていますが、心の距離は近づけて、『つながり支えあう』ことを学校でも目指していこうと思います。